

事務事業名	除雪事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
政策名	総合計画体系 (Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	維持管理G	課長名	日野 誠
施策名	(07)道路網の整備	担当者名	昌子 真二	電話番号 (内線)	0854-40-1061 3731
基本事業名	(019)道路の補修・維持管理	予算科目	会計 科目 0140103001	中事業	除雪管理事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	①観測所積雪量が15cmに達したとき、交通状況、気象情報等を配慮し、各総合センター長が除雪開始の判断をし、委託業者等へ作業指示の発動。②委託業者等による除雪作業の実施とセンターへの実施報告。③作業実績の確認と委託料の支払い。	町村道の除雪が開始されたのは、自家用自動車の普及に伴い、通勤、通学、生活路線の確保を目的に昭和40年代後半から本格的に実施されるようになった。国道県道は、それ以前より実施されていた。

(2)トータルコスト

	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
①事業費の内訳(概要)							
除雪委託料	千円		30,500	21,163	16,000	16,000	16,000
機械借り上げ料	千円						
修繕費	千円						
賃金	千円						
その他	千円						
事業費計(A)	千円	54,566	129,280	103,398	25,958	26,000	30,000
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)							
各センター毎の除雪業務従事時間合計	人	32	27	27			
	時間	1,350	1,977	1,977			
	千円	5,149	7,687	7,793	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	59,715	167,467	132,354	41,958	42,000	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)							
	6センター毎の除雪作業の実施。							
② 24年度計画(24年度に計画している主な活動)	前年度と同様							

目的	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	生活道路(除雪対象路線)							
	除雪対象路線延長	km	702	705	705	705	705	705
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	生活道路機能の維持管理を図る。							
	除雪実施のべ路線延長	km	42,577	52,000	46,000	42,000	42,000	42,000
	積雪15cm以上での実施率	%	100	100	100	100	100	
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	安全で利便性の高い道路交通網を整備する。							
	生活道路が安全で便利だと感じる割合	%	55.5	57.1	55.7	59.5	59.7	60
⑤ 上位成果指標	道路改良延長	m	639,847	642,833	644,180	645,300	656,850	

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
5年前は、業者委託を中心に除雪体制が組まれていたが、この間、土建業者の事業撤退、機械オペレーターの高齢化等の問題が発生し、除雪作業の実施、機械所有など、雲南市直営部分への移行が進みつつある。	・合併前町村で異なっていた除雪実施基準を島根県除雪基準をもとに統一した。 ・H20年度から、業者保有機械確保のために、維持管理の補助を開始した。	・市民から:勤務者の90パーセント以上が自家用車を通勤手段としている雲南地域では、早期除雪の実施、木戸道の確保など、除雪に対する要望、苦情が強まっている。 ・委託業者等から:除雪機械やオペレーターの維持確保の困難性が訴えられている。

事務事業名	除雪事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 除雪作業は、通勤、通学、生活道の維持、事故防止の他、生命財産に関わる緊急車輛通行網の確保としての重要な目的を持ち、安全な道路使用の結果に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 除雪実施の決定判断、委託料の支払い等の限られた部門の業務を実施している。委託先の判断で除雪実施した場合、過度な除雪実施など公平、客観性を欠く場合などが危惧され、自治体が直営で実施すべき部門と判断する。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 除雪基準に従い対象路線が設定されていること、又、「その他必要な路線」については、住民生活の状況から各センターが地域意向を踏まえ、期間をかけ設定した除雪対象道路であり、適切と判断する。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ センター間をまたがる路線境界付近の除雪について、センター間調整により、作業効率の向上を図ることができる。豪雪時には、機械、オペレーター等、センター間の支援強力により成果の向上を図ることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 事業を廃止した場合、安全な道路網の確保が困難となる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 統廃合できる該当事業がない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 成果達成には、有資格、熟練したオペレーターによる機械除雪が必要となる。作業の安全面からも専門のオペレーター以外での実施は難しい。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 除雪作業は、殆んど業務委託されており、正規職員の作業実施は無い。逆に業者撤退に伴い、直営負担が強まる傾向にある。また、作業実施決定及び作業発注部門は直営がふさわしい。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 6センターが、雲南市除雪対象路線基準に沿って選定した通学路、生活主要道路等に対し、新雪15cm等の均等な基準に基づき作業実施を図っており、公平性が保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	見直し内容は、上記④へ記載済み																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果																						
方向性は、上記④のとおり	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
課題 : 業者撤退が進む状況(1枚目(4)-②記載)の中で、除雪機械及び除雪オペレーターの確保が求められる。 解決策 : 業者対応できない不足に対し、直営による対応。解決に向けた予算措置。																							